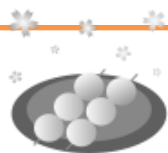




# グローバル NO. 88

こうのす国際交流市民の会



発行責任者鈴木和子 ☎090-6035-3649

お問い合わせEmail uchizu1318@jcom.zap.ne.jp

発行日 2016年 3月 14日

<どこかで春がうまれてる〜> ようやく春めいて参りました！  
この冬、風邪？など引きませんでしたか？ そして<花粉症>対策は万全でしょうか？  
4月。新しい年度となります。楽しい、実りある年度にしたいですね！！

## 総会のお知らせ

と き 2016年5月8日(日) 13:30～

ところ 市民活動センター D

\*総会資料、委任状、会員更新等の資料は4月上旬頃、送付します。

## お花見に行きましょう

日 時 4月3日(日) 10:30AM

場 所 吹上 元荒川河畔

集合場所 吹上駅 改札口

持ち物 お弁当、飲み物、敷物



## 鴻巣市のお花見

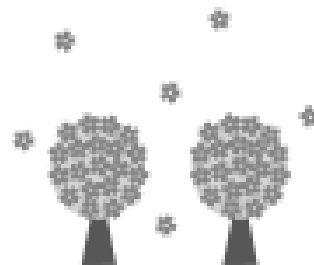
鴻巣会場 4月3日(日) 鴻巣公園

吹上会場 4月2, 3日(土、日) 鎌塚イベント広場

さくら橋、元荒川親水護岸周辺 他

川里会場 あかぎ公園

時 間 10:00～16:00 (各会場共)



## 私の国際交流体験記

ゆうこりん

この日もテレビからはイスラムに関するニュースが流れている。ニュースの中で聞こえてきたアザーン(ミナレットから流れるイスラム教の礼拝の呼びかけ)。その懐かしい響きにふと20年前のことを思い出していた。

白い漆喰で細かく装飾された美しい建物。砂埃舞う茶色い街。道を行く男性は皆腰に「ジャンビア」という刀をさしている。女性は黒い布に身を包み、顔を見ることは出来ない。



1996年秋、私はアラビア半島の南西にある「イエメン」首都サナアという街にいた。

もともと旅行が好きで色々な地を旅してきた。もっといろいろな国の事を深く知りたい、そんな想いで応募した民間の国際交流団体が主催するインターンシッププログラム。仕事をしながら現地の人との文化交流が目的だ。

任期は10ヶ月。派遣された先はサナアにあるインド系ホテルだった。スタッフはインド人をはじめイエメン、イラク、ソマリア、フィリピンと、国籍も目的も皆様々。

そんな言葉も文化も異なる仲間と囲まれた生活が始まった。私の周りではアラビア語に、タガログ語、英語が飛び交い、最初の頃はインド訛りの英語も聞き取ることが出来ず苦労した。宗教もイスラム教にヒンドゥー教、カトリックと異なり、そのしきたりや考え方の違いに戸惑う毎日だった。

彼らの中で「日本」と言えば「TOYOTA」や「Kawasaki」が有名なようだ。確かに町を走る車やバイクは中古ながら殆どが日本製だ。

日本の技術を誇らしく思うと共に果たして私はここで何が出来るのだろうか？

試行錯誤の連続だった。日本語を教えてみたり、日本食を紹介してみたり。日本から着物も持参した。ひらがなを教えると覚えたひらがなを使って自分の名前を書いて得意げにしている。

そして日本の海苔巻きを作れば見慣れない黒い食べものに興味深々。

着物は女性には好評で、皆日本という国に興味を示してくれていることが本当に嬉しかった。

しかし、時には困惑することも多々あった。「ニホンとニッポンは違うの？」という質問にもきちんとした説明が出来ない。

「裕子は空手出来ないの？」「日本人は頭がいいしパソコンも得意なんですよ？」等々。

日本人は皆空手が出来ると思っているのだろうか。空手だけでなく剣道も柔道もやったこともなければ、パソコンも機械も苦手な超アナログ人間の私は彼らの期待をことごとく裏切っててしまったようで申し訳なく感じることもあった。

それより増してショックだったことは普段使っている日本語のこともよくわかっていなかったことだ。

帰国したら日本のことをもっと勉強し日本語教師の資格も取ってみよう、そしていろんな言語にも挑戦してみようと心に決め10ヶ月の任期はあっという間に終了した。

帰国して気がつけば早20年。今ではまた時間に追われる慌ただしい毎日を過ごしている。そんな中テレビから聞こえてきたアザーン。その響きにイエメンにいた日々、あの頃の想いが蘇ってくる。

私にまだ何か出来ることがあるのではないか？やらなければならないことがあるのではないか？そう問われているように聞こえた。

昨年からは<こうのす国際交流市民の会>のイベントにも参加させていただき日本語を勉強するいろんな国の人に出会う機会もあった。

帰国して取った日本語教師の資格も活かされずにもう何年もたってしまっている。ふと押し入れに仕舞い込んでいた日本語教師養成講座のテキストを取り出しパラパラめくっている内に、またやってみようかな？そんなことを思っていた。



イエメンの国旗

## お国紹介 情熱の国 キューバ キューバってどんな国？

臼田 記

<キューバ>って聞いて何を思い浮かべますか？ヘミングウェイが愛した国？カストロ首相？青い空？青い海？葉巻やラム酒そして砂糖？社会主義の国？



2月14日（日）バレンタインデー。

市民活動センターにキューバ出身山崎エスペランサさんをお迎えして<お国紹介>がありました。エスペランサさんは、1981年に来日、北本市に在住。ダンス大会<サルサ>の部でチャンピオン！通訳としても活躍、お料理の腕前はプロ顔負けです。

キューバは皆さんご存知の通り、大航海時代にコロンブスによって発見され、カリブ海で一番大きな島。公用語はスペイン語。通貨はキューバペソ。首都はハバナ。国花はマリポナ（ランの一種）、国木はダイヨウヤシ（大王ヤシ）、スポーツは勿論、<野球>が盛んです。

キューバ経済はこれまで半世紀以上ほとんど変化していない。街並みはほとんど変わっていない。

だが、教育は小学校6年、中学校3年、高校3年、その後専門学校、大学と進む。社会人のための夜間学校もある。習熟度に合わせ進む。身障者のための学校、タレント性を活かす学校もある。

**学費は無料。**識字率は世界でトップクラスである。

**医療も無料。**地域医療として街の中に<お医者さんの家>というのがある。食料品は一カ月に一度配給があり、主な食品は手に入るが、足りないものは市場で購入。

キューバの空、海は青い。日本より青の色が濃いのです。深みがある。とにかく美しい。人々は底抜けに明るい。一度キューバを訪れてください。

尽き内お話の後、エスペランサが作られたケーキを頂き、その後、お待ちかねサルサの手ほどきを受け 参加者48名おおいに盛り上がりました。



何かご質問は？





# Let's Dance !!

皆さ〜ん!

私の説明よ〜く聞いてくださいねー  
恥ずかしがらずに踊りましょう!



いいなあー  
私たちも踊りたいわ



あんな風にするのね



踊りの輪がどんどん  
広がりました!



## 北本市国際交流ラウンジのイベントに参加して

松村淑子

2月28日(日)、北本市学習センターに於いて”もっと知ろう友達の国、スウェーデンの生活と文化“というイベントがありました。講師は私たちくこうのす国際交流市民の会>の日本語教室で勉強しているスウェーデン出身のラース・ルンデインさんでしたので(応援?)の意味も含めて鈴木、臼田、松村の三人で参加しました。

ラースさんは、ますます上手になっている日本語で、スウェーデンの位置、時差(-8時間)、飛行機便(日本→12時間デンマーク→3時間ストックホルム)、国土は日本全土に北海道をもう一つ足した程度の広さはあるが、人口は日本の約1/12で、人口密度は1/19であること等話をされました。また、ご自分で撮影したビデオも活用して首都ストックホルムの街並みやノーベル賞が授与される市庁舎、ご自分が結婚式を挙げた教会、ご両親宅の庭、アイスホテル、北方の森林地帯などを映しながらはなされました。また、北部での夏の白夜、一日中陽のささない冬の日々等のことも話されました。伝統的な食べ物としてはシナモンロールやザリガニ、豚の血のプディングに木の実のソースをかけたものが映し出されました。ラースさんは豚の血のプディングは好きではないそうです。日本人でも納豆が食べられない人がいるように。(私も)

1クローネ≒14円、物価は日本より少し高め、(特に日本食のラーメン1400円、枝豆630円など)だそうです。日本で良く知られている企業としてはボルボ(車)、IKEA(日本のニトリのような)、H&M(日本のユニクロのような)等々。

また、女性の労働参加率が高く(スウェーデン76%、日本48%)、したがって男女格差はとても少ないそうです。消費税は平均25%ですが、食堂、ホテルは12%、本、乗り物は6%など一律ではないそうです。高福祉高負担国家であることは、最も注目をあびているところです。したがって税率も高く、計算方法も少し複雑のようです。

その他色々お話し下さいましたが書ききれません。日本語も内容もとても素晴らしかったです。お疲れ様でした。有難うございました。



# 楽しい日本語

高井 正利 記

## <日本語クラブ>の現況

最近はファミリー参加の受講生が多くなりました。  
出身国別ではネパール、中国、ブラジル、スウェーデン等です  
勉強の目的は日本語の読み書きも含め、話し方や読み方の勉強  
学校での教科の勉強日本語検定に向けた勉強もしています。

学習日	毎週金曜日【第5週は除く】
時間	19:00~21:00
場所	中央公民館(鴻巣中学前) 鴻巣駅より徒歩7分
講師	ボランティアの皆さん
費用	無料

## 子ども日本語教室<りぼん>の現況

従来の活動場所<ふれあいセンター>から参加しやすいように  
とく市民活動センター>に移り活動しております。このクラブは  
外国から来た子供が中心で、日本語の勉強のほか学校の教科の復習  
予習のお手伝いもしています。出身国別では、中国、ネパール、  
ベトナム、ニュージーランド、フィリピン等です。参加者も幼稚園  
、小学生、中学生と幅広い年代です。ファミリーの参加者が多く、  
大人の方や金曜日からの学習者の参加もありボランティアが不足気  
味で苦勞している現状です。

学習日	毎週土曜日【第5週は除く】
時間	13:30~15:30
場所	市民活動センター 鴻巣駅前, アスリエビル 3F
講師	ボランティアの皆さん
費用	無料

私たち ガンバってま〜す。





## 語学教室の紹介

### ★日本語クラブ

授業：金曜日（第5週目は休み）  
 午後 7時～9時  
 講師：ボランティアの皆さん  
 場所：中央公民館  
           鴻巣駅から徒歩7分（鴻巣中学校前）  
 会費：無料

学習者が大勢になりました。

#### ボランティア先生募集

一緒に楽しみましょう！

連絡先：鈴木和子 ☎09060353649  
           臼田千鶴子 ☎08066381318

### ★スペイン語クラブ

授 業：第1, 3土曜日午後2時～3時:45分  
 講 師：リリアナさん（コロンビア出身）  
 場 所：中央公民館  
           鴻巣駅から徒歩7分(鴻巣中学校前)  
 会 費：1回 500円  
 連絡先：田上有三（代表）080-1317-5579

☆世の中、これから益々グローバル化が進んでいきます。

英語以外の外国語も必要になってきています。スペイン語をみんなで仲良く勉強して、これからの人生に役立てましょう。みなさんの参加をお待ちしています。

### ★こども日本語教室「りぼん」

授業：土曜日（第5週目は休み）  
           午後 1時30分～3時30分  
 講師：ボランティアの皆さん  
 場所：市民活動センター  
           （鴻巣駅前 アスリエビル 3F  
           中央図書館の上です。）  
 会費：無料

☆このクラスは子ども中心ですが、大人も学んでいます。子どもは学校の予習、復習、ドリル等を。大人は「日常生活に役立つ日本語」等を学んでいます。

連絡先：鈴木和子 090-6035-3649  
           湯浅みほ 048-542-9000

### 編集後記

ひな祭りもすぎ、卒業、入学、就職等、悲喜こもごもの交錯する新しいたびだちの、ちょっと一休みのこの時期。陽ざしも柔らかく新芽があちこち顔をのぞかせている中にフッと漂ってくる花の香り。沈丁花です。この香りは小学校2年生の春、世田谷に引っ越した家の生け垣にズラーと並んで咲いていた薄紫と白が混じった初めて見る花でした。なんと良い香り。それ以来この花の香りが漂ってくると「春が来た」新しいことの始まり。そんな懐かしい想いを運んできます。

香、音楽、景色等は昔のことを思い出させてくれますが、なぜかこの現象、最近では溜まりすぎのような感じがするのです。????

新年度が始まります。皆で楽しく盛り上げてゆきましょう。 (湯浅)

